



## 多文化共生の まちづくり

### 多文化共生とは？

みなさんは、多文化共生という言葉をご存知ですか？

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いに文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の一員として共に生きていこうとする考え方です。

### 地域に身近な外国人

現在、本市には12カ国、約160人の外国人のみなさんが生活しています。就労や結婚などで定住している人、勉強や仕事のために一時的に滞在している人など、事情は様々です。

また、近年では、大久野島を中心に、非常に多くの外国人観光客が訪れていることから、外国人と接する機会は、ますます増えていくことが予想されます。

### 互いを認め合うために

国籍・文化が異なる外国人のみなさんに対し、私たちはどう接するべきでしょうか。

人は誰でも、自分の中の「常識」や「当たり前」という意識を持っています。しかし、自分の持っている「当たり前」の意識からお互いに抜け出して、相手をより理解し合おうとすることが、安心して暮らすためには不可欠です。

また、私たち一人ひとりが外国人の基本的な人権が守られているかどうかに関心を持ち、外国人のみなさんと共に、文化的・制度的な問題を共に考えていくことが大切です。

市では、相互理解を深め、人権意識を育てる啓発事業を進めるほか、市からの情報が、市内で生活する外国人のみなさんにも円滑に伝わるよう、ごみの出し方等の生活情報を多言語化しています。

また、外国人観光客に対するホスピタリティ向上の一環として、観光情報の多言語化や、WiFi設備の整備を進めています。

外国籍の市民や外国人観光客が、安心して快適に過ごせる

るまちを目指して、これからも相談体制や情報提供の充実を図っていきます。

お互いを認め合いながら生活できるまちを、みんなできくっていきましょう。



## 男女共同参画ってなあに？！

ずばり！「男女平等」のことです。

市では平成24(2012)年度「第2次たけはら21男女共同参画プラン」を策定しました。目標にむけ男女平等社会づくりの取組を行っていかねばなりません。「平成27(2015)年版 広島県の男女共同参画に関する年次報告」では、雇用者のうち正規労働者の割合は女性40.9%で男性の73.8%を大きく下回り、一方、パート・アルバイトなど非正規労働者の割合は女性55.4%で男性の18.2%を大きく上回っています。

性別に関係なく経済的にも安定した生活を送ることは、だれもが幸せを感じ、心豊かに暮らせる社会をつくるために大切な要素のひとつです。

市では、「一人ひとりが自分らしく輝けるまち・竹原」を目指して、今年度も「たけはら男女共同参画社会づくり講座」を開催します。

たくさんのご参加をお待ちしています。

### 問い合わせ

たけはら男女共同参画  
社会づくり実行委員会  
(人権推進室内)

☎ 22-7736



### 咲かせよう 人権の花

11月25日～30日、市内の小学1年生に、人権擁護委員が「人権の花」(ヒヤシンス球根)の配付や命の大切さと他者への思いやりの心を学ぶ紙芝居などを行いました。

2月頃、協力して育てたヒヤシンスの花が咲くのが楽しみですね。